

2021年入試 日本大学芸術学部 一般選抜入試A方式第1期第1週目  
 学力試験解答例(2021年2月9日実施)  
 (配点は当校の推定によるものです)

※2月9日に解答例速報として掲載した解答例を、日本大学公式発表を元に修正致しました。  
 英語は【Ⅱ】(9)(10)については昨年出題した英語試験問題(令和2年2月11日実施)と重複していた設問があることを確認したとして、受験者全員正解として扱われます。※青字で表記  
 国語は【Ⅲ】問6にミスがありましたので訂正致します。※赤字で表記

<英語>

【Ⅰ】配点:24点;各3点

(1) A (2) B (3) A (4) C  
 (5) C (6) B (7) D (8) C

【Ⅱ】配点:16点;各2点

(9) D (10) D (11) C (12) B  
 (13) C (14) A (15) B (16) A

【Ⅲ】配点:24点;各4点

(17) C (18) C (19) A (20) C (21) A (22) C

【Ⅳ】配点:18点;各3点

(23) B (24) B (25) D (26) A (27) D (28) A

【Ⅴ】配点:18点;各3点

(29) C (30) A (31) D (32) B (33) D (34) C

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。全体としては「やや易化」。  
 【Ⅰ】で語法問題、【Ⅱ】で短文の文脈から空所に入れる語を判断する問題が出題されている。基本的な語法・文法の知識と語彙力があれば解ける問題。  
 【Ⅲ】は長文読解問題で、【Ⅳ】はこれと共通するテーマに関する会話問題だが、パンデミックによって芸術活動が制約を受ける中、活路を見出そうという動きに関する内容で、予想どおり「新型コロナウイルス」に関連する問題が出題された。設問は解きやすく、全体の流れがつかめていれば、解答はさほど困難ではない。  
 【Ⅴ】は長文中の空所に適語を入れる問題で、文脈を把握する能力が問われる。これもコロナ封じの妖怪アマビエがテーマとなっており、内容的にはわかりやすいが、空所補充をするには、文脈把握力とともに基本的な文法力も必要だということを付記しておきたい。

<国語>

【Ⅰ】配点:28点;各4点

問一 2 問二 2 問三 3 問四 4

問五 4 問六 2 問七 3

【Ⅱ】配点:30点;各5点

問一 4 問二 3 問三 1 問四 2 問五 4 問六 4

【Ⅲ】配点:26点;問一～二:各2点、問三～六:各3点

問一A 2 B 2 C 4 D 3

問二ア 4 イ 3 ウ 2

問三 3 問四 2 問五 2 問六 4

【Ⅳ】配点:6点;問一:1点、問二:2点

問一I 2 II 6 III 1 IV 5

問二 1

【Ⅴ】配点:10点;問一:各1点、問二:各2

問一a 4 b 1 c 8 d 10

問二a 3 b 3 c 4

【短評】

大問数及び出題形式は例年通り。難易度は「標準」～「やや難」か。  
 【Ⅰ】は前年同様、文化論が出題。文章量は前年と比べやや減少。設問は昨年より一つ増えた(空所補充問題)。  
 【Ⅱ】は前年同様、現代日本のSF小説からの出題であった。昨年より文章量が増加し、受験生にとっては時間的に厳しかったかもしれない。特に問三は選択肢に迷うところだったであろう。  
 【Ⅲ】古文について、「枕草子」で、例年通り、著名な作品から出題となった。文章の長さは例年通りで内容も基本的なものであるが、語彙の設問が減り、傍線部の解釈を問う問題が増加。問六については選択肢に迷う問題で解答に迷った受験生も多かったのではないかと。  
 【Ⅳ】文学史【Ⅴ】国語常識問題は例年通りのレベル。出題数は減少した昨年から【Ⅴ】が若干増加。